

5. 会社沿革

Company History

	年度	社歴	国内外の出来事	明細
創業期	1992年	有限会社タケダ創業 (富山市中富居自宅にて) 社員1名と共に2名だけでスタートする	バブル崩壊が始まる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で価格決定権のある業務用食肉卸売業を始める ・自宅敷地内で3坪のプレハブと資金不足の為自転車に乗り、営業をスタートする ・創業当時より7年後に新社屋を造ることを決意する
	1995年	焼肉じゅうじゅう2店舗を開店 (直営店)		<ul style="list-style-type: none"> ・若手の独立の手助けになればと思い、モデル店として中小規模店を2店開店
変革期	1997年	富山市問屋町にプリマ営業所跡地を取得し社屋移転 第一期工事		<ul style="list-style-type: none"> ・業容拡大に伴い、自宅が手狭になり問屋町へ移転
	1998年	焼肉じゅうじゅう2店舗を店長に移譲し、独立させる(6月)		<ul style="list-style-type: none"> ・焼肉直営店2店舗を、当初の目的が達成されたため、当時の店長に経営権を譲渡した ・日創研との出会い、社員教育の重要性を痛感する
	2000年	年間売上が対前年130%アップを達成する 7期連続増収増益を続ける		<ul style="list-style-type: none"> ・組織全体がレベルアップリズムに仕事が回るようになった
	2001年	大型冷凍庫を増設する	国内 BSE 発生	<ul style="list-style-type: none"> ・大型冷凍庫に3000品目の商品を入れ、対応力を向上する ・日創研の研修に費用を計上して従業員を参加、社員育成を進める
	2002年	加工場・事務所を増築する		<ul style="list-style-type: none"> ・DIPS*1 勉強会を、全員でスタートする
成長期	2003年	隣接地に150坪の土地を購入し、増築計画に入る	USA で BSE 発生	<ul style="list-style-type: none"> ・社内講習会をスタートさせる(従業員が講師)
	2004年		鳥インフルエンザ発生	
	2005年	グランマルシェタケダ株式会社へ組織改編(3月) 加工部門を有限会社タケダへ分社化する 第二期工事開始する 新工場が稼動(10月)	牛肉個体識別番号制度スタートする	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式場、ホテルなど大型契約相次ぐ ・総投資額1億円
	2008年	倉庫用の土地・建物450坪、敷地を購入する	原油高により、畜産物が高騰する	<ul style="list-style-type: none"> ・総投資額5千万円 ・売上高10億円達成



5. 会社沿革

Company History

	年度	社歴	国内外の出来事	明細
成長期	2010年	宮崎口蹄疫義援金を送金 20億円プラン スタートする インターネット・サービスエリアへ のお土産販売・DM販売、各1億円を目指す ・善意銀行より宮崎口蹄疫義援金で表彰を受ける ・第3期増築の為に、隣接の土地建物 500坪の物件 を購入する	デフレスパイラルが始まる 東日本大震災(3.11)発生	・東日本大震災災害ボランティア2名を派遣(3泊4日) ・義援金403,668円を贈る ・倫理法人会に入会する ・総投資額3億円
	2011年	・500坪の工事計画を始める	富山市役所より建築許可がなかなか下りない	・富山市企業経営強化プログラム「富山未来塾」受講
	2012年	創業20周年 経営革新計画承認		・ジビエ(いのしし・しか・くま)販売を開始
	2014年	新工場増設・完成(4月)		・ドライ・エージング・ビーフの作成・販売を開始
	2015年	品質管理を重視するため、トップ自ら製造現場に立ち、チェックを始める	北陸新幹線が開業(2015.3.14) ノーベル生理学・医学賞を大村智氏が、物理学賞を梶田隆章氏が受賞	一つひとつの商品を更にグレードアップするため、生産工程の見直しに入る
	2016年	“改善のあゆみ”を社内に掲示する	熊本地震(4.14～)発生	TQCA*2を実践し、改善に努める
	2017年		記録的豪雨による大災害発生が頻発(7.6～)	

[注*1] DIPS とは、「知的労働に従事する人達 (Intellectual People) の生産性を向上させる (Increasing Productivity) システムという、『ダブル IP システム』からとった略語で、『DIPS』という。

[注*2] TQCA とは、アメリカのファインゲンバウムが提唱した言葉 TQC (Total Quality Control: 総合的品質管理)、すなわち「製品の品質を管理するためには、製造部門だけに任せては効果が限定されるので、営業・設計・技術・製造・資材・財務・人事など全部門にわたり、さらに経営者を始め管理職や担当者までの全員が、密接な連携のもとに品質管理を効果的に実施していく」活動を、実践 (Action) することを意味することばの総称として使用しています。

